

令和4年度

事務事業評価表(令和3年度の実績評価)

記入年月日
令和4年4月16日

Table with columns for project name (給水管維持管理事業), policy system position (政策体系上の位置付け), financial position (財務会計上の位置付け), and project period (事業期間). Includes details like '0506 上水道の整備' and '06 上水道の整備'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table (1) 事務事業の概要. Left column: ①事務事業の概要 (概要・全体像). Right column: ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Content describes water supply maintenance and leak response.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table (2) showing KPIs and trends. Columns include: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Rows include '年間修繕件数', '給水管の管理件数', and '年間給水量'.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table (3) showing input trends. Columns: 02年度(実績), 03年度(実績), 04年度(計画), 05年度(目標), 06年度(目標), 期間限定総投入量. Rows include '国庫支出金', '事業費計(A)', and '正規職員従事人数'.

Table showing internal cost breakdown. Columns: 03年度事業費実績(千円), 04年度事業費予算(千円). Rows include '14 工事請負費', '12 委託料', '14 工事請負費', '15 原材料費', and '合計'.

事務事業名	給水管維持管理事業	事務事業No.	50601000596	所属課	水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
適正な給水管の維持管理を図り水道法に適合した水道水の供給を行うとともに、また公道上の事故を未然に防ぐため。なお、岩瀬地区内の市街化区域内は、アパートの建築に伴って給水件数の増加に伴い、管理している給水管についても同じように毎年増加している。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 給水管の適正な維持管理のもとで漏水をなくし、水道使用者に対して安定かつ継続的に水道水を供給することで、生活環境の充実を図ることができる。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 給水管の適正な維持管理のもとで漏水をなくし、水道使用者に対して安定かつ継続的に水道水を供給することで、生活環境の充実を図ることができる。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 配水管からの取り出し箇所で給水管が漏水しており、気づかないケースが多い。改善策として漏水音調査を行ない、漏水を特定し有収水量の向上を図る。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 水道水を安定的に供給することができなくなり、住民の生活に支障が出る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的な手段、事務事業名 配水管からの分岐独立管のため
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 指定工事店協会に公共単価に基づき経費低減で委託しているため。また、委託しているため人件費の削減の余地はない。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 給水条例に基づいているため公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和4年度は、漏水調査を有効的に活用し漏水修繕件数を増やしていくことによって、令和3年度よりも有収率・有効水量を上げコスト削減できるよう努めていく。																			
②有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 改善を実現する上での課題: 漏水箇所を特定するにあたっての漏水範囲の絞り込み 解決策: 夜間、水の使用量が少ない時間帯での配水量調査を行ない、エリアを絞っていく。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果		①																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>